



“Hello Safety” 本太小学校

“Hello Safety” 栄小学校

本校は今年度、学校安全ネットワークセンター校の委嘱を受け以下の取組を実施してきました。

(1) 学校安全ネットワークの情報交換活性化

校長会、教頭会、学校地域連携コーディネーター情報交換会等において、区内の不審者情報等やその対応について積極的に情報交換を行い、情報の共有化に努めています。また、以下の取組について、必要に応じて情報提供しています。

(2) 「本太セーフティネットワーク(MSN)」の活動

地域ボランティアの方々及び地域関係団体を地域安全コミュニティとして総合的に組織して活動を行っています。



・緑のベストを着用して、通学路の要所に立って児童を見守っていただいたり、学校内外の安全パトロールをしていただいています。

(3) 全家庭の参加による「PTA見守り活動」

クラスごとに3人から4人のグループを作り、毎日3交代制(登校時、業間時、下校時)で見守り活動を行っています。

・職員室で防犯ベストを着用し、防犯ブザーをもって校舎内外を巡回します。巡回後、状況の報告と日誌への記入を行います。保護者同士の交流の場としても活用しています。



(4) 警察と連携した「不審者侵入時対応訓練・研修」の毎年実施

毎年夏季休業中に、学校に不審者が侵入したという想定で対応訓練を実施しています。



・実施後は、ビデオを再生しながら反省・評価しています。また、浦和警察署の方から指導を仰ぎ、マニュアルの改善等に生かしています。

本校は平成22年度2学期より学校安全ネットワークモデル校の研究指定を受け、地域自治会の防犯パトロールチームの協力を得ながら児童の通学時の安全確保を研究してきました。また、保護者の意識を高めるとともに不審者に対する抑圧効果を図るため、全保護者が自転車の荷台に「安全活動中」のプレートをつけ、保護者来校時には「見守り活動中」であることを示す名札を着用する体制を確立しました。本年度は、東日本大震災により校舎の一部が損壊し、使用可能な施設設備が大きく変化し、校内の安全体制や防犯体制を見直す必要ができました。そこで、以下の活動に取り組みました。

(1) 学校警備員は、子ども達が活動する校舎内外についての安全状態を見直し、安全マップの作成にかかわりました。

(2) 本校の地域防犯パトロール体制は、特定の自治会組織に負うものでした。そこで、学校評議員を窓口にして、他地域の防犯パトロールチームにも協力を要請することで、昨年度より広い地域をカバーすることができるようになってきています。

(3) 地域の防犯パトロールチームの総会や定期集会に管理職が欠かさず参加し、学校と地域の意思の疎通を図るように努めています。

※地域住民からは児童の登下校のマナーについて厳しい意見をいただき、即刻指導をすることで、改善を図っています。

(4) 今後は、児童が防犯活動をしてくださる方々への感謝を示すため、「爽やかな挨拶の励行」と「地域のごみ拾い活動」など地域のためにできる貢献策を考え実践することで、児童に地域の一員としての自覚をもたせていきます。



防犯ワンポイントアドバイス ～子ども安全協定の締結状況～

さいたま市教育委員会は、「学校安全ネットワーク」をさらに強化し、子どもの通学区域全体の安全を一層確保するために、事業者の方々や「子ども安全協定」の締結を進めております。この協定につきまして、12月にさらに4社と締結を進め、現在、28事業者(約14,000台の車両保有)の方々、市内を巡回する際に、子どもの安全を見守っていただいております。

【締結業者(12月実施分)】 ・埼玉ヤクルト販売株式会社 ・埼玉東部ヤクルト販売株式会社
・株式会社ヨシケイ大宮 ・株式会社ヨシケイ東埼玉